

沼田たか子の活動報告

谷口たかひさん講演会『気候変動のおはなし』 ● 4/12

4/23

● 第1回定例会 報告会・学習会

議会活動報告会と学習会
「性教育とは命を知ること～自分の命と人生を守るために～」を開催

NPO 法人さんおほうす葛飾代表で、
助産師の井出陽子さんにお話しいただきました。

● 杉並区 すぎの農園 視察 5/8

杉並・生活者ネットワークの仲間とともに都市部における農福連携の取り組みを視察しました。

● 5/10～12 文教委員会 視察

文教委員会所属の議員10人全員で、札幌市の課題解決型図書館、千歳市の特別支援教育について学びました。

● 5/12 札幌市障がい福祉サービス ヒアリング

市民ネットワーク北海道の市議3人とともに
重度訪問介護の支給決定を受けている方の
地域での生活を当事者の目線で支援する、
札幌市の独自制度「パーソナルアシスタンス
制度」について学びました。

● 5/16

清和小学校 断熱施工教室 見学

昨年8月の断熱改修工事実施までの経緯や
改修後の効果等について説明を受けました。

児童と保護者を対象としたワークショップも
開催され、子どもたちが楽しみながら
地球温暖化や断熱効果による省エネを学び、
断熱材の設置を体験しました★

● 新宿中学校 運動会 5/27

● 教科書展示会 6/2

● 6/11 かつしか環境・緑化フェア2023

● 6/17

私学事業団総合運動場取得・活用に向けた
検討状況説明会

新小岩北地域エリアマネジメント社会実験
「あそびばプロジェクト」

● 青砥駅前での議会報告

議会後はレポートを作成・配布し、議会の様子や
沼田の活動を報告しています。区民の皆さんの
意見を伺う大切な時間でもあります。

お困りのこと、関心のある項目に○をつけてください。
よろしければその内容や理由をあわせて教えてください。

❖ 医療・介護・福祉

内容：

❖ 子育て・教育

内容：

❖ 環境

内容：

❖ 人権・ジェンダー平等

内容：

❖ その他

こんなまちにしたい、というご提案など
ご自由にお書きください。

区政のことを聞きたい、

くらしの中の困りごとを相談したい、などなど

どなたでも気軽におこしください。



葛飾・生活者ネットワーク

議員は市民の代理人。

生活者ネットワークは議員を代理人と呼び活動しています。

生活者ネットワーク 3つのルール

- ❖ 議員は交代制、議員の特権化を防ぎます
- ❖ 議員報酬は市民の政治活動資金に
- ❖ 選挙はカンパとボランティアで

〒125-0054 葛飾区高砂 8-21-1
TEL:03-5876-4757 FAX:03-5876-4758

e-mail:katsushika@seikatsusha.net
https://numata.seikatsusha.me



ご協力ありがとうございました。

発行：2023.7.13
発行責任者：沼田たか子

葛飾区議会議員
ぬまた

沼田

区議会レポート Vol.7

たか子

e-mail:katsushika@seikatsusha.net
https://numata.seikatsusha.me

NET 葛飾・生活者ネットワーク



令和5年

第2回定例会 6/6～22

令和5年度補正予算を含む47議案、
請願5件、議員提出議案3件について審議。

サッカースタジアム建設は決定!?

葛飾区は、東新小岩の私学事業団総合運動場の土地を取得し、将来的にはサッカー専用スタジアムとしての整備をめざすことを今年1月の総務委員会で報告し、同事業団と運動場利用に関する協定を締結しました。スタジアム整備の検討について報道で知った区民も多い中、6月に説明会が開催されると聞き、区がどのような説明を行うのか、近隣の方がどのように考えているのか知るために参加しました。

説明会では、区から検討経緯とスタジアム建設の可能性、収支見込み、地域への経済効果等に関する検証の報告および質疑応答が行われました。参加者からは「スポーツだけでなく社会貢献やSDGsの取組みにもいかしてほしい」「新小岩全体の環境整備を含めた開発をしてほしい」などの要望の一方、隣接するマンション住人から、騒音や渋滞、不特定多数の人が住宅地に立ち入ることなどにより住環境を脅かされるのではないかと、いう切実な不安の声があがりました。

スタジアム建設について区はあくまで検討段階としていますが、十分な説明も合意もないまま、多くの区民が決定事項と捉えてしまう状況となっていることは問題です。4月に設置が報告された協議会についてもメンバーや協議内容は明らかにされていません。

区は説明責任を果たし、十分に地域の声を聞き情報を公開すること、区民が参加できるかたちで検討をすすめることを求めています。

突然の土地取得報告までの経緯

議会を含めた区民からの要望を受け、区は2020年に基礎的事項の調査を実施したことを議会に報告。区長は2022年6月議会の一般質問において「検討をすすめる」と答弁しました。しかしその後、検討の経過を議会へ報告することなく、スタジアムの建設について具体的な方針を示さないまま、2023年1月に不動産取得に向けた協定締結を報告、用地特別会計予算案を提出しました。沼田・みずま・共産は予算案に反対しましたが、賛成多数で可決となり、区による土地の買い取りが決定しました。

区の財政負担ゼロは区民の負担ゼロではない

区は土地取得について、約350億円を支出するものの国庫補助と東京都の都市計画交付金および財政調整交付金で100%保証されるとしています。区の財源を使わないとしても、国や都の財政支援のもと私たちの税金です。2023年3月末の国の債務は1,270兆円あまりと過去最大を更新し、財政状況は一段と厳しくなっています。葛飾区の負担がなくとも、国の債務になるのであれば、区民の負担を増やすことになるのではないのでしょうか。どこにどのように税金を使うのか、将来においても必要なものか、区民が税金の使い方を考えていく必要があります。

政治は生活を豊かにする道具

沼田たか子に
あなたの声をお寄せください。



❖ 公式WEBサイト、SNSはこちらから →

